

# ワクチン医療従事者先行接種

# 勝山総合病院19日から

## 新型コロナ

杉本達治知事は十六日に開会した二月定例県議会で、新型コロナウイルスワクチンの医療従事者向け先行接種を十九日に地域医療機能推進機構の福井勝山総合病院（勝山市長山町二）で県内初実施する方針を表

明した。新型コロナ関連⑧⑨⑩⑪⑫面  
同日によると、米製薬大手ファイザー社のワクチンが十八日に搬入される。同院では医療従事者四百三十人が接種を希望。十九日に三十人が接種し、残りの四

百人を五日間に分けて実施し、二週間後をめぐりに二回目の接種を行う。副反応が出ても医療体制に支障が出ないように休日前や分散接種する。県内では同院を含む十二の病院が冷凍したワクチンを配置する「基本型

ファイザー社のワクチンの特徴



- 75度前後の温度を保つ
- 3週間を隔てて2回接種
- 皮下組織に刺す
- 筋肉注射
- 皮膚
- 筋肉

新型コロナウイルス感染症のワクチン 開発され、世界保健機関(WHO)によると約240の開発計画がある。日本では米ファイザー製が14日に初めて承認された。ウイルスそのものではなく、遺伝物質を投与して体内に抗体を作る新しいタイプ。政府はファイザー、米モデルナ、英アストラゼネカから計約3億1千万回分の供給を受ける契約を結んでいる。

接種施設」に指定され、解凍したワクチンが送られる「連携型接種施設」には県内四十五の病院が指定。三

月中旬以降、県内全域の医療従事者計一万六千五百人が五十七病院で接種する。四月以降は六十五歳以上の

高齢者二十万人を優先して接種し、さらに基礎疾患がある人、一般住民と対象を広げる。(本田英寛)

# きよらつ東京で国内初接種

国内初となる新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が十七日に始まる。米製薬大手ファイザー製で、一例目が予定される東京都内の病院に十六日午後、搬入された。今回は医療従事者に対する先行接種の位置付け。河野太郎行政改革担当相は同日の記者会見で、同意を得た全国の医療従事者四万人が先行接種対象と説明した。

このうち二万人に日々の健康状態を記録してもらって安全性調査を実施する。対象者がいる百の医療機関全てで来週中に接種が始まる

見通し。河野氏は、ワクチンの利点とリスクについて国民の理解を進める考えを示し「多くの人の接種を期待する」と述べた。

ワクチン接種は十六歳以上を対象で来年二月までを予定する。英国や米国より二カ月遅れの開始となるほか、副反応への対応や、ファイザー含む海外三社と契約した量を速やかに確保できるとどうかといった課題がある。ファイザー製ワクチンの第二便は来週、日本に到着する見込み。

先行接種の後、今年三月中旬以降は、新型コロナウイルス診

療に関わる医師らに接種を始める。その後、四月以降に六十五歳以上の高齢者、さらに基礎疾患がある人などが続く。

接種開始が欧米より遅い理由については、田村憲久厚生労働相は今日十五日の衆院予算委員会で「ファイザーの治験はアジア人が数%で、国内の治験を行う時間が必要だった」と説明した。

国内治験では、ワクチンを接種したグループにウイルスに対する抗体が確認された。一方、注射部位の痛みやだるさなどの副反応も

多く報告された。ファイザー製ワクチンは政府が十四日、製造販売を正式承認。最大約三十八万回分となる第一弾が十二日、同社主力工場があるベルギーから成田空港に到着した。